

ナンバリング	B③06	科目名	教育実習(幼稚園Ⅱ)
担当形態	複数	担当教員	池谷 潤子・伊藤 恵里子・大澤 ちづる 小木曾 友則・由田 新
ディプロマポリシーとの関連性	①, ②, ③		
テキスト	「幼稚園教育要領解説」 フレーベル館 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 フレーベル館		
開講時期	通年	単位数・ 授業形態	3単位 実習
到達目標	<p>&lt;子ども理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・幼稚園において、子どもがどのように学び、生活をし、どう成長を遂げるのかなどその背景を含めて具体的に考察する。その理解にもとづき、幼児と適切に関わることができる。</li> </ul> <p>&lt;職務の理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育者の援助と、その基となる保育観や意図を理解する。</li> </ul> <p>&lt;園の理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者とのかかわり、地域の幼児教育のセンターとしての使命など、様々な支援を理解する。</li> </ul> <p>&lt;保育の過程の理解&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・保育の過程を理解し、保育の計画立案、実践、自己評価、改善を試行することができる。この過程を通し、保育に必要な基礎的技術や情報機器の活用を身につける。</li> </ul> <p>&lt;自己課題&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を通して自己の良さや課題、価値観などに気づく。</li> </ul>		
授業の概要	<p>本実習は、幼稚園教諭免許状を取得するために必要な実習の1つであり、3週間という長期に亘って実施されます。実習としては続くステップとなります。子ども理解、職務理解に加え、保護者への支援についても学びます。各自の実習課題をきちんと意識して臨むことが必要となります。</p>		
授業計画			
準備学習と必要時間	教育実習(実習指導)の受講および実習園からの課題(必要時間 60分)。		

評価方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事前指導で立てた目標の達成状況、実習の取り組み状況 — 40%</li> <li>・実習記録 — 30%</li> <li>・実習園からの評価 — 30%</li> </ul> <p>※単位認定の前提として、実習事前事後指導を学修している事が条件となる。</p>				
参考文献	「幼稚園教育要領」 文部科学省 「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 内閣府				
特記事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実習を規定時間行うことが必要となりますが、規定時間を満たしたとしても、実習の状況等により、単位の修得ができない場合があります。</li> <li>・教育実習(幼稚園Ⅰ)の単位を修得していない場合、履修出来ません。</li> </ul>				
課題へのフィードバック方法	実習記録は必要に応じてコメントを記入して返却します。				
卒業・免許状・資格との関連	卒業		幼稚園教諭免許状	必修	教育実践に関する科目
	その他		保育士資格		
教員の実務経験	(池谷)国外保育園での勤務経験を活かし、実際の課題はどんなものか、その解決への取り組み方法、また、その際の問題点などに触れ、より実践的な授業を行う。 (大澤)国内外の幼稚園教諭経験があり、発達支援を目的とした音楽療法についても経験を有する (小木曾)保育所及び幼保連携型認定こども園で保育士として実習生を受け入れた経験を踏まえ、具体的な事例を提示しながら事前指導で実習の意義及び実習内容と課題の明確化、実習の留意事項、記録の作成方法などの指導を行う。 事後指導では、記録をもとに実習の総括を行う。				